

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	ハングル	
科目基礎情報							
科目番号	0061			科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『基礎から学ぶ韓国語講座初級(改訂版)』木内明著 国書刊行会						
担当教員	李 政樹						
到達目標							
1. 韓国語の文字が読める 2. 韓国語の文字が書ける 3. 簡単なフレーズを身につける 4. 動詞, 形容詞等の活用がある程度できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		韓国語の文字が読み書きが適切にできる		韓国語の文字が読み書きできる		韓国語の文字が読み書きできない	
評価項目2		動詞, 形容詞等の活用ができる		動詞, 形容詞等の活用がある程度できる		動詞, 形容詞等の活用ができない	
評価項目3		動詞, 形容詞等の活用ができる		動詞, 形容詞等の活用がある程度できる		動詞, 形容詞等の活用ができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA) 本科の学習・教育目標 (HA)							
教育方法等							
概要		韓国語を初めて習う学習者を対象にする。二年間の学習でハングル能力検定試験5級の合格程度の力をつける					
授業の進め方・方法		講義を基本とする					
注意点		欠席の場合は後日の授業に多大な支障が生じるため、欠席は絶対しないこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	基礎第1課: 韓国語の仕組み		ハングルの仕組み, 語順を理解する		
		2週	基礎第2課: 基本母音		基本母音の読み書き		
		3週	基礎第3課: 基本子音		子音(平音)の読み書き		
		4週	基礎第3課: 基本子音		子音(激音, 濃音)の読み書き		
		5週	基礎第4課: 複合母音		複合母音の読み書き		
		6週	基礎第5課: パッチム		パッチムの読み書き		
		7週	中間試験				
		8週	答案返却, 解答説明, 復習		既習内容の確認・まとめ		
	2ndQ	9週	第1課. 私は浅井ゆかりです		あいさつ・簡単な自己紹介・です/ます体の学習		
		10週	第2課. 出身はソウルですか		出身地を聞く、です/ます体の疑問文		
		11週	第3課. 図書館ではありません		です/ます体の否定		
		12週	第4課. 時間がありますか		あります/ありません		
		13週	第5課. ネットカフェでパソコンをします		します/しますか		
		14週	復習		既習内容の確認・まとめ		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却, 解答説明				
後期	3rdQ	1週	前学期の復習		既習内容の確認・まとめ		
		2週	第6課. 貿易会社で働いています		もう一つの言い方の学習		
		3週	第7課. 東大門市場に行きます		動詞の学習		
		4週	第8課. しょっちゅうスーパーで買います		もう一つの言い方の用言の学習		
		5週	第9課. それは1万ウォンです		体言+です、漢数詞の学習		
		6週	第10課. 今、何時ですか		いくつ、固有数詞と時刻の読み方		
		7週	第6課～第10課の復習		既習内容の確認・まとめ		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	答案返却, 解答説明, 復習				
		10週	第11課. 日本語を話されますか		敬語		
		11週	第12課. そんなに遠くありません		用言の否定、～するといい		
		12週	第13課. いつ韓国に来ましたか		用言の過去形		
		13週	第14課. 民俗村に一緒に行きましょう		勧誘表現、何の～		
		14週	第11課～第14課の復習		既習内容の確認・まとめ		
		15週	学年末試験				
		16週	答案返却, 解答説明				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0